

高大連携事業シンポジウム

秋田県立大学 事例発表

2025年12月9日



Akita Prefectural University

秋田県立大学

1

秋田県立大学 アドミッションチーム

1

高等学校との連携事業の紹介



Akita Prefectural University

秋田県立大学

2

秋田県立大学 アドミッションチーム

2

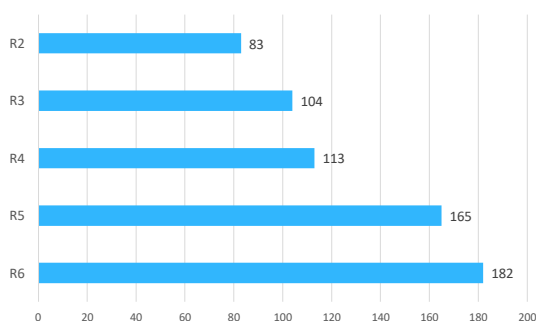
高大連携事業 本学の実施状況（直近5年間）

■ 高大連携事業の種別

▶SSH、SGH支援 ▶探究活動、課題研究支援

▶出前講義 ▶キャンパス見学 ▶研究室訪問

※コンソーシアム（高大連携授業）、ハイレベル講座を除く



■ 本学の教員数

▶システム科学技術学部 81名

▶生物資源科学部 83名

▶総合科学教育研究センター 14名

▶木材高度加工研究所 12名

高大連携事業への積極的な実施背景

■ 進路の選択を検討するきっかけ

■ 科学への興味・関心の醸成

■ 高校生に大学レベルの教育・研究に触れる企画の提供

▶本学を知っていただく

（本学の高度な教育・研究レベルの周知）

▶本学教員と高校教員、高校生との交流

▶大学教員と高校教員との相互理解

高大連携事業の取り組み事例

- ① 学年をまたぐ中期計画型
- ② 単年度の年度内完結型
- ③ 単発の1日完結型



① 学年をまたぐ中期計画型

■ S S H指定校、S G H関連事業への支援

▶ 県内高等学校が中心

▶ 連携協定校が中心

- ・ 秋田県内高等学校4校と連携し、2年間もしくは3年間に渡る支援活動
- ・ 高等学校側の目的、目標を十分に理解し、事前準備を密にした上での支援活動
- ・ 本学の教員に限らず、学部学生、大学院生の参画による高校生にとって身近な支援活動



② 単年度の年度内解決型

■ 理数クラスの探究活動の支援が中心

▶ 県内高等学校が中心

- ・ 研究室訪問、出前講義、実験体験が中心
- ・ それぞれの探究活動へのアドバイス、専門家への照会



7

秋田県立大学 アドミッションチーム

7

③ 単発の1日完結型

■ 模擬講義、出張実験、研究紹介、キャンパス訪問が中心

▶ 県内外の高等学校を問わず実施

▶ 比較的志願者の多い高等学校からのオファーが多い

- ・ 秋田県内の高等学校は来学型、教員派遣型は実施件数の半々
- ・ 県外高校は近県からの来学はあるが、基本は教員派遣型が多数



8

秋田県立大学 アドミッションチーム

8

③ 単発の1日完結型 (キャンパス見学)



- ・システム科学技術学部 (本荘キャンパスにて)
- ・VRの体験 (情報工学科)



- ・生物資源科学部 (秋田キャンパスにて)
- ・食品関連研究紹介 (応用生物科学科)

- ・木材高度加工研究所 (能代キャンパスにて)
- ・木材に関する研究紹介

- ・アグリノベーション教育研究センター (大湯キャンパスにて)
- ・畜産、牛舎の見学 (アグリビジネス学科)



③ 単発の1日完結型 (先輩との交流)



- ・在学生との交流 (ディスカッション)
- ・OB、OGからのアドバイス等は有効

・真剣そのもの



- ・リアクションも豊富!!
- ・参加型での活発な交流!!

- ・OB、OGへの質問 (結構鋭い!)

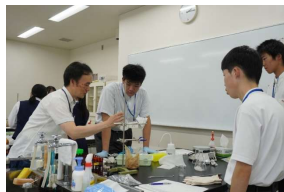


- ・現役大学生の研究発表



※ ハイレベル講座

ハイレベル化学実験
(生物資源科学部)



ハイレベル生物学実験
(生物資源科学部)



ハイレベル数学
(システム科学技術学部)



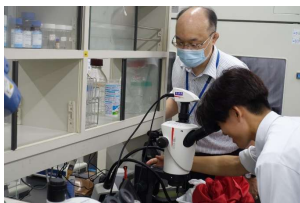
11

秋田県立大学 アドミッションチーム

11

～高大連携事業の課題～

- ▶ 教員の負担
- ▶ 実施時期（下半期は受け入れ等が難しい）
- ▶ 教員の温度感（大学、高校共通）
- ▶ 互いの情報共有
- ▶ 高校側の状況把握



12

秋田県立大学 アドミッションチーム

12

○探究活動に関する助言・指導依頼について

問い合わせ先：秋田県立大学アドミッションチーム

アドレス：adm@akita-pu.ac.jp

電話番号：018-872-1535

以下の情報があるとスムーズです。

- ・依頼の目的（重要）
- ・実施形態
（講義、実験、OB・OG交流等）
（対面・オンライン）
- ・実施予定日（要調整）



13

秋田県立大学 アドミッションチーム

13

ご清聴ありがとうございました



Akita Prefectural University
秋田県立大学

14

秋田県立大学 アドミッションチーム

14